

焼酎を彩る酒器・テーブルウェアの開発

デザイン・工芸部 山田淳人, 澤崎ひとみ, 上原守峰*
(現 * 県大島紬技術指導センター)

1. はじめに

県内工芸品の生産額は総体的に年々下降傾向の中、全国的な焼酎のブームに伴い薩摩焼の「黒千代香」のみは生産増にある。しかし黒千代香のみでは将来的に頭打ちも考えられるため、工芸関連業界では焼酎周辺に関する新製品開発が求められている。そこで今の焼酎ブームをビジネスチャンスとして捉え、伝統的な黒千代香を含め、現代的な楽しみ方に沿った酒器・テーブルウェアの開発や、企業と共同で焼酎関連商品の試作を行った。

2. 熱衝撃に強い黒千代香の開発

薩摩焼の歴史の中で直火に強いと言われていた苗代川焼の伊作田粘土、神之川粘土(吸水率10.0%, 9.3%)を想定し、市販品の中から吸水率の近い陶土2号(白)と紅土5号(吸水率7.8%, 3.7%)の2種類を選び、ペタライトやカオリンを付加し熱衝撃試験を行った。



熱衝撃試験の様子(写真は素地試験の様子)



出来上がった黒千代香

3. 千代香のカラーバリエーション提案や黒糖焼酎を楽しむ酒器・テーブルウェア等の試作

千代香にカラーバリエーションを付加したものや黒糖焼酎を楽しむ酒器やテーブルウェアの試作を行った。また、県内の工芸企業と共同で焼酎関連の商品の試作を行った。



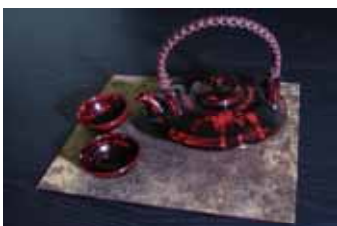
千代香のカラーバリエーション提案



奄美の海をイメージした酒器セット



大島紬の柄をイメージしたテーブルウェア



陶胎千代香



和紙を使った焼酎瓶型照明器具



焼酎トート